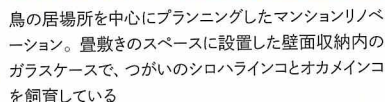


鳥は基本的に寂しがり屋。鳥がヒトを視認しつつ安心して生活できるよう、鳥の居場所（ケージの置き場所）は、リビングなどヒトの集まる場所の近くに設けたい。鳥は空気質の変化に敏感なので、キッチンからはなるべく距離を取るのが好ましいが【※1】、難しい場合はガラスケース（扉）などで鳥とヒトの空間を分けるのも一案だ。換気扇の設置により空気質を保てるうえ、臭いや掃除の手間も軽減。温湿度や照明コントロールも容易になる。

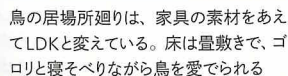
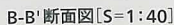


收納家具平面詳細図[S=1:40]

收納家具正面図[S=1:40]

A-A' 断面图 [S=1:40]

下部には、エサや保温器具など鳥のための飼育グッズを収納



「愛鳥と暮らす家」設計：seki.design. 写真①②：福澤昭嘉 ※1 キッチンには、鳥にとって住宅内で最も危険の多い場所。さまざまな危険のなかでも、テフロンやフッ素でコーティングされた調理器具やオープンレンジを熱することで発生するガスによって鳥の生命が奪われる事故が近年多発しており、くれぐれも注意が必要。詳しくは27頁参照 ※2 シロハラインコは鳴き声が大きめの鳥種。寝室が隣接しているため、造作家具廻りに厚さ90mmの吸音材を施工